

学生による企画提案活動支援事業活動報告

事業名	生活文化にふれよう！－“デコって楽しい香川のクリスマスワンプレート”－
団体名 代表者	香川短期大学 生活文化学科食物栄養専攻2年 横山 出雲
事業の目的	県内唯一の栄養士養成施設として、本学の独自性が認められる「調理実習」を題材として取り組むことで、大学での学びの再確認をし、児童へ伝えて行くことを目的としている。また児童が、日常食の調理実習を契機として、調理（料理）に興味をもち、日常的に使う技能の習得へとつながっていくという教育的な効果となることも目的としている。
事業概要	「生活文化にふれよう！」と題し、県産の食材を使用したクリスマスワンプレートを教材として「地産地消」や「郷土料理」などについて学習する食育教室を催すと同時に、クリスマスワンプレートの調理実習を行った。子どもを主体とする活動により児童は料理に興味関心を持つことができた。

成果（参加人数等を具体的に記載してください）

(1) 活動期間：令和4年7月～令和5年2月 事業開講日：11月20日（日）9：30～13：30

(2) 参加人数及び実施場所

参加人員：総数：75名（大人42名）・主催者（27名）・保護者等（15名）
（子ども33名）・小学生（33名）

実施場所：香川短期大学食物栄養棟（綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地）

(3) 事業成果

①事前準備（令和4年7月～11月）

②事業の実施 事業開講日：11月20日（日）9：30～13：30

9：30～あいさつ 9：35～食育教室

10：10～集合写真撮影 10：20～12：30調理実習

12：30～13：30試食・片づけ・アンケート記入

③事業後の振り返り（令和4年11月～令和5年2月）

I）事業参加者（児童・保護者）へのアンケート調査（当日実施）

II）事業参加者へ写真を配布 事業参加者へ当日の写真を印刷し、配布を郵送にて行った。（12月初旬）

III）事業実施2か月後の事業参加者（児童・保護者）へのアンケート調査（令和5年1月末～2月初旬）

実施2か月後の児童へのアンケート調査では、「料理を作るのは楽しい」と全員の児童が回答していた。「うまく作れて自信になった」、「考えながら動く良さがわかった」「簡単な料理が作れるようになった」と回答した児童が9割以上となり、期待通りの成果が得られている。さらに、「料理以外のお手伝いもするようになった」「実習後料理の手伝いをたくさんするようになった」と回答した児童も多く8割以上となり、調理に限らず、家族の一員として率先して家事を担おうとする自主性の向上が感じられた。保護者からは「季節にあったお料理がとても良かった」「今回のメニューが盛り沢山で、すごく楽しかったようです！大学生と料理が出来て、とても良い経験になりました。」「これからも作る楽しさを教えてくれる研修会を希望します。香川県ならではの郷土料理を教えてくださいたいです」等の感想があり、子どもを主体とする活動への好評価とともに、今後の企画に期待する声も多く寄せられた。これからも、この事業を継続して行い、地域の子どもの食育に貢献していきたいと考えている。

